

令和 8 年度全国学力・学習状況調査の結果について

枚方市立第二中学校 令和 8 年 9 月 1 8 日

学力調査結果の概要

文部科学省が今年 4 月に実施した、令和 8 年度全国学力・学習状況調査の結果について、本校の学力や学習の状況を保護者の皆様にお知らせします。結果によると、生徒の生活習慣と学力には相関関係があることから、引き続き、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

○国語について

言葉の特徴や使い方に関する事項で成果が見られたほか、表現の効果を考えて描写する問題、目的や場面に応じて伝え合う内容を検討する問題でも一定の成果が出ている。

また、『話し合いを受けてどのような意見を述べるか、自分の考えを書く』問題や、『書いた文章について、交流を基にして、「この文章のよい点や改善点」と「今後随筆を書くときに生かしたいこと」を書く』問題では、全国平均を大きく上回った。

○数学について

基本的な知識・技能を問う問題で成果が見られたほか、筋道を立てて考えたり、数学的に考え説明したりする問題でも一定の成果が出ている。

また、問いに対して「統合的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することができる」ことが見受けられ、単に回答するのみでなく、問題を理解し表現することができていると考えられる。

○英語について

目的や場面に応じて、必要な情報を聞き取ったり、読み取る問題に成果が見られたほか、まとまりのある文章を書く問題にも一定の成果が出ている。記述問題に対しても、粘り強く回答しようとする姿がみられ、無回答率が 0 % となっている。また、日常的な話題に対して自分の考えをしっかりと回答することができた。

国語において成果があった設問

【成果が見られた設問】

「ら抜き言葉」であるものを選択する。

2を「ら抜き言葉」として選択する。
上一段活用の「起きる」には可能の助動詞「られる」がつくはずであった。「行く」などの五段動詞の未然形には「れる」がつき、「行かれる」となるが、可能動詞「行ける」も同意になるため、それらとの見分けが肝心。他の選択肢がう行下一段動詞「折れる」「売れる」「生まれる」だったので、比較的解きやすい問題である。

考察
本校の正答率が93.5%であるのに対し、大阪府正答率が82.4%、全国が85.4%と、上回る結果となった。この結果から、本校の生徒が動詞の活用・「可能」の助動詞について理解ができており、文法の学習を繰り返してきたことで定着しているものと考えられる。

- 三 竹内さんは、他にどのような「ら抜き言葉」があるのかを考えてみました。次の1から4までのうち、文中の——線部が「ら抜き言葉」であるもの一つ選びなさい。
- 1 強い風で傘が折れる。
 - 2 朝が早くても起きれる。
 - 3 この商品はよく売れる。
 - 4 赤ちゃんが生まれる。

書いた文章について、交流を基にして、「この文章の良い点や改善点」と「今後随筆を書くときにいかしたいこと」を書く。

【石井さんが書いた随筆】を読んだ上で、その随筆について交流した【交流場面②】をもとに、表現の工夫とその効果について、助言からよい点や改善点を見出さねばならなかった。【メモ①】の書き方を参考にできるものの、解答者自身がどのように生かすかまで考える、思考判断表現の問題である。

考察
本校の正答率が60.9%で、正答率が高くはない設問においても、大阪府正答率が40.8%、全国が45.0%と、上回る結果となった。普段の授業において、自身の考えを書いた文章をもとに他者と交流し推敲してきた効果と考えられる。

※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

【1 段落についての交流場面①】		【1 段落についての交流場面②】	
石井	【1 段落で、絵を描くことが趣味だということに印象付けるように工夫したのですが、どうでしたか。 最初の「私には趣味がある」という一文で、趣味は何だろうと知りたくなり、先を読みたくまりました。 私もそう思いました。	石井	スケッチブックを「相棒」と表現したことはどうですか。 田中 「その時々私の気持ちを相棒が教えてくれる」とスケッチブックを人のように表現しているのが印象に残りました。 山田 スケッチブックは今の自分の気持ちが詰まっているものだから、「相棒」よりふさわしい比喩もあるのではないかと思います。
【メモ①】		【メモ②】	
＜よい点や改善点＞ 冒頭で「私には趣味がある」と趣味が何かを明かさないうことによって、読み手に先を読みたいと思わせることができた。 ＜生かしたいこと＞ 随筆を書くときは、書き出しの工夫をする。		＜よい点や改善点＞ ＜生かしたいこと＞	

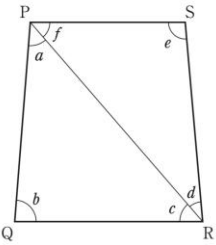
数学において成果があった設問

【成果が見られた設問】

平行線になるための条件

図形の性質を考察する場面において必要となる、筋道を立てて考えること、2直線が平行なるための条件を理解していることができるかどうかをみる問題である。

③ 下の図は、四角形PQRSに対角線PRをひいたものです。



上の図において、 $\angle a$ から $\angle f$ までの6つの角のうち、ある2つの角の大きさが等しければ、 $PS \parallel QR$ であるといえます。その2つの角を書きなさい。

考察

基本的な問題であり、図形の証明問題では筋道を立てて考えていく場面で頻出の問題である。
本校の正答率が73.9%で全国正答率の49.1%を24.8ポイント上回る結果となった。
これは普段の授業から、根拠を持って問題を考えていくこと、また、その確認を丁寧に指導してきた成果であると考えられる。

筋道を立てて証明し、図形を考察すること

図形の性質を考察する場面において、筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる問題である。

④ 下の手順で、鋭角である $\angle XOY$ の2倍の大きさの角が作図できます。

手順

- ① 図OX上に適当な点A、図OY上に適当な点Bをとる。
- ② 点Aを中心として半径ABの円をかき、
- ③ 点Oを中心として半径OBの円をかき、②の円との交点をとる。
- ④ 直線OPをひく。

上の手順で作図した $\angle POB$ は、 $\angle XOY$ の2倍の大きさになります。次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) 手順の②の図において、 $\angle AOB$ の大きさが α° のとき、 $\angle POB$ の大きさを β° を用いて表しなさい。

(2) 図ページの手順で作図した $\angle POB$ が $\angle XOY$ の2倍の大きさであること、つまり $\angle AOB = \angle AOP$ であることを証明します。図1は、手順の②の図の点Aと点B、点Aと点Oを結んだ図です。図1において、 $AB = AP$ 、 $OB = OP$ は事象から直観わかることです。これらを根拠とし、次のことがらを証明します。

図1

図1において、 $AB = AP$ 、 $OB = OP$ ならば $\angle AOB = \angle AOP$ である。

上のことがらが成り立つことは、 $\triangle AOB = \triangle AOP$ を示すことで証明できます。下の証明を完成しなさい。

証明

$\triangle AOB$ と $\triangle AOP$ において、

合同な図形の対応する角は等しいから、
 $\angle AOB = \angle AOP$

考察

ある事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明する問題であり、説明する際には、成り立つ事柄とそれぞれの根拠を記述する必要がある問題である。
本校の正答率が76.1%で全国正答率の46.1%を30ポイント上回り、また、本校の無回答率の6.5%は全国無回答率の22.2%を15.7ポイント下回る結果となった。
これは、記述式の問題に対しても、「粘り強く」取り組む本校の生徒の姿勢が強く反映された結果であると共に、根拠を考えて説明することの大切さを日々の授業で説いていることが表れた結果であると考えられる。

英語において成果があった設問

【成果が見られた設問】

目的に応じて、必要な情報を読み取る

複数の情報が含まれてるまとまりのある内容を読み、書かれていることの全てではなく、読み手として目的に応じて知りたいことやほしい情報を読み取る問題であり、問題7では、日常的话题について、目的に応じて、必要な情報を読み取ることができるかどうかを把握するために、誕生日パーティーに関するメールを読み、最も適切な時刻を選択する問題である。

7

あなたは、友達のスズ(Suzu)の誕生日パーティーのために問題をよみます。主催者のジェーン(Jane)からの【メール】を読み、あなたがジェーンの家に行く時刻を、<解答欄>の1から4までの中から1つ選びなさい。

【メール】

Subject: Suzu's Birthday Party

Date: April 20

From: Jane

Hi, friends,

This is Jane.

Here's some information about Suzu's birthday party.

Date: Saturday, April 25

Time: The party starts at 11:30 a.m.

Please don't arrive before 11:15 a.m., because we will set up for the party.

Place: My house

If you can help, please read the information below.

Please come at 10:00 a.m. to cook for the party.

Please come at 10:30 a.m. to prepare the games.

I hope Suzu will have a good time with everyone.

Your best friend,

Jane

<解答欄>

☐ 1 10:00 a.m.

☐ 2 10:30 a.m.

☐ 3 11:15 a.m.

☐ 4 11:30 a.m.

(注) below: 下の

考察

本校の正答率が85.4%であるのに対し、大阪府正答率が69.7%、全国が72.4%と、大きく上回る結果となった。
この結果から、本校の生徒がメールなどの日常的文章から必要な情報を素早く読み取る力が定着していると考えられる。

まとまりのある文章を書く

文と文の順序や相互の関連に注意を払い、全体として一貫性のある文章を書く問題であり、問題13では、日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかを把握するために、留学生との交流会で一緒にしたいことを1つ取り上げ、その理由を書く問題である。

13

あなたは、留学生のトム(Tom)と仲良くなるために、交流会で一緒にしたいことをクラスに提案することになりました。「トムと一緒にしたいこと」を1つ取り上げ、「なぜそれしたいのか」を、15語以上、30語以内の英語で書きなさい。なお、交流会でしたいことは下の【例】を参考にしてもかまいません。

What do you want to do with Tom?

【例】







<解答欄> ※半角で入力してください

© / 最大999 単語

考察

自由記述の問題であり、多くの生徒が苦手とされるタイプの問題であるが、本校の正答率は72%と高く、大阪府と比べて29.4%、全国とでは28%以上高く上回った。
この結果から、本校の生徒が単純な単語補充にとどまらず、自分の考えやまとまりのある文章を英語で組み立てて書く活用力が身につけていると考えられる。

質問紙調査の結果

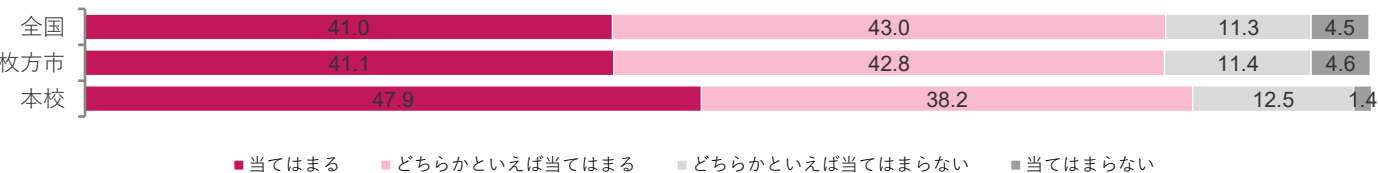
※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。

※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。

※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合もあります。

【成果が見られた項目】

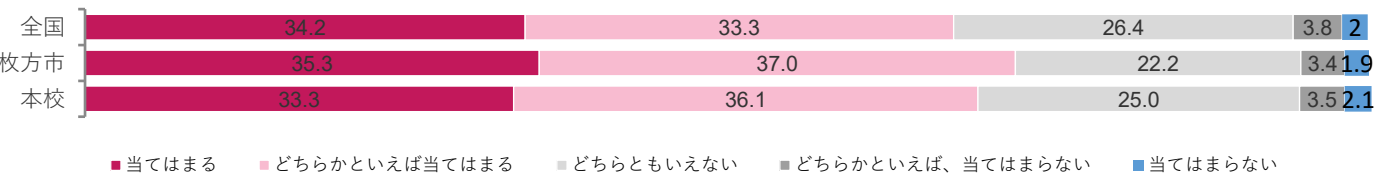
質問内容：自分には、よいところがあると思いますか



(考察)

「当てはまる」と回答した生徒の割合が全国・枚方市と比べて高いことがわかりました。これは、生徒たちが自己有用感を感じながら、生活を送ることができていることを示しています。

質問内容：あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか



(考察)

全国および枚方市と比較すると、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合は下回っています。改善策として、日々の授業や学級活動において、多様な意見を安心して伝え合える雰囲気づくりを進めるとともに、協働学習などの場面で相互理解を促進し、生徒同士のつながりを深めていくことが必要であると考えられます。

質問紙調査の結果

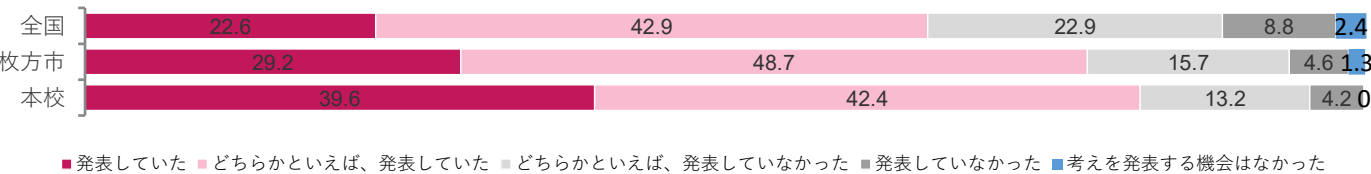
※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。

※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。

※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合もあります。

【成果が見られた項目】

質問内容：1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

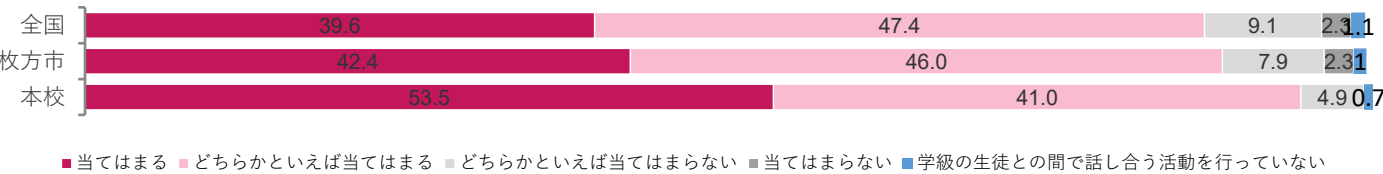


(単位：％／本校・枚方市はグラフを右クリック→「データの編集」で入力すると自動反映されます)

(考察)

「発表していた」と回答した生徒の割合が全国、枚方市と比べて10%以上高く、「発表する機会はなかった」と回答した生徒はいませんでした。本結果から、本校が教育活動の中で発表の機会を意識的に設定し、取り組みを積み重ねてきたことと、安心して自分の考えを発表できる環境を醸成してきたことが本結果に結び付いたと考えられます。

質問内容：学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



(単位：％／本校・枚方市はグラフを右クリック→「データの編集」で入力すると自動反映されます)

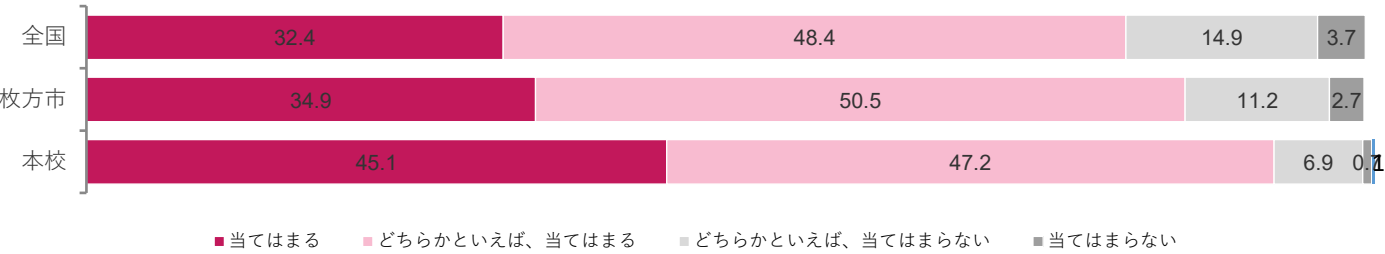
(考察)

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」という肯定的回答が90%以上を占めていることから、生徒たちが協働学習の中で自分の考えを深めたり、新たな考え方に触れたりすることができると実感しています。本結果から、生徒たちが学習活動において、多様な他者との協働学習の良さ・価値を見出していることを示していると考えられます。

分析結果を踏まえて取り組んでいくこと

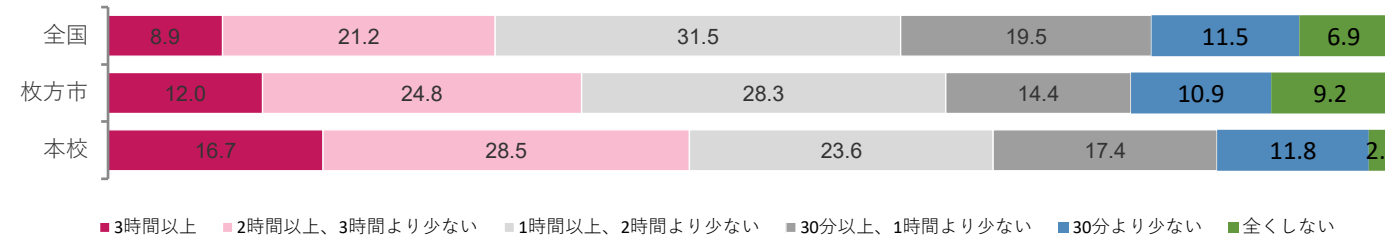
(1) 授業改善について

質問内容：総合的な学習の発表では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



(2) 家庭学習について

質問内容：学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



本校の生徒は、基礎的・基本的な知識や技能がおおむね定着しており、基本的な問題では全国平均と同程度、またはそれを上回る結果が見られました。また、思考力・判断力・表現力が求められる記述式の問題においても成果が見られています。これらの結果から、生徒は答えを導くだけでなく、その理由や根拠を自分の言葉で説明する力を身につけつつあると考えられます。

一方で、自ら課題を見いだして解決方法を考える問題については、さらなる力の向上が求められます。変化の激しい社会においては、単に知識を身につけるだけではなく、習得した知識や技能を活用しながら課題解決につなげていく力が一層重要となっています。総合的な学習の時間を中心に、今後も授業において、課題解決型学習や自分の考えを深めたり広げたりすることのできる課題を積極的に取り入れ、身につけた知識を活用する力の向上に努めていきます。

また、「なぜその答えになったのか」を他者に説明する活動や、根拠を明確にして考えを表現する場面を充実させることで、自分の意見や考えを相手に分かりやすく伝える力の育成にも引き続き取り組んでいきます。さらに、協働的な学びの機会を充実させることで、多様な考え方に触れながら自らの考えを見直し、よりよい考えを形成する力を育てていきます。あわせて、生徒一人ひとりが主体的に学習に取り組み、自ら学びを調整しながら成長していけるよう、学習の振り返りや自己評価の活動についても充実を図っていきます。

家庭学習については、質問紙調査の結果から、1日当たりの勉強時間に関して比較的長いという傾向が見られました。これらの結果は、二に通う生徒のみなさんが主体的に学習する機会を積み重ねてきた成果だと考えられます。今後についても、学校で学習したことを家庭学習にもつなげていけるような、シームレスな学びを展開していきます。一人一台のICT端末を活用し、授業での学習を家庭でも深めていけるような課題の作成に取り組めます。